

12月「薬物乱用防止教室」

12月10日(木)、講師として本校学校薬剤師の有田さんにお越しいただき、「薬物乱用防止教室」を開催しました。

小学生には無縁に思われる薬物乱用の問題ですが、昨年2月には県内の中学生が大麻所持で逮捕されています。また、平成27年には京都の小学6年生が大麻を吸ったと告白した事例もあり、薬物乱用の危機は身近なものとして考える必要があります。

講師の有田さんは、最近、芸能人が相次いで薬物使用で逮捕されていることや同じ人が繰り返し逮捕されることが少なくないことを例に挙げ、興味本位で一度でも薬物を使用すると、薬物が脳を萎縮させ、強い依存症を引き起こす恐ろしさについて説明してくださいました。また、やめようとしても強い禁断症状が現れ、自分の意志でやめることが難しいという薬物中毒の特徴も教えてくださいました。

子どもたちは、人の心もからだもぼろぼろにし、社会に対しても大きな悪影響を及ぼす恐れがある薬物の恐ろしさについて、ノートを取りながら真剣に考えていました。

薬物には「ダメ。ゼッタイ。」という強い意志で臨むことが大切ですね。

